

# FANCT



旭川工業高等専門学校 学校だより“ファンクト”

vol.  
116

平成25年8月発行

## Contents

### 特集 充実!高専生活!

新入生合宿研修	2
第2学年宿泊研修	3
校内体育大会	4
各クラス・専攻科・留学生の紹介	5
寮生活ってこんな感じ	8
トリプルA制度スタート!	10

### 連載企画

僕たち・私たちの青春!	12
先生の横顔	13
こんな授業やっています	13
ANCT VOICE	14
平成25年度 行事予定	16



新入生合宿研修の風景

# 充実！高専生活！

4月に新しい年度がスタートして早4ヶ月。学校行事やクラスの様子、今年度からスタートした“トリプルA制度”など、学生のみなさんの高専ライフを紹介します。



## 新入生合宿研修

4月17日(水)・18日(木)の1泊2日で、北海道立青年の家「ゆーすくおとえ」にて、新入生合宿研修を実施しました。これは、1年生の皆さんに、学生主事・卒業生の講話、上級生との懇談等を通じて、高専生活の概要や今後の生活における注意点を理解してもらおうと共に、スポーツ活動等を通じてクラスの仲間や教員との信頼関係を築き、親睦を深めようという、毎年行っているものです。入学してからあまり日が経っていないこともあり、最初は少し緊張した面持ちで参加していた皆さんですが、色々な活動を通じて交流の輪を広げることができ、とても充実した研修となったようです。



全ての1年生が親睦を深める、合宿研修。会場に着き、皆で話をしていると、開会式が始まります。合宿では、学校の行事の紹介、皆との昼食など色々ありましたが、その中でもチームごとのスポーツ。スポーツはやっぱり皆の楽しみ。学科も区別なく、皆が笑い合っていました。皆との絆が生まれた、と最高にうれしい瞬間でした。



機械システム工学科1年 靴谷 一衣



電気情報工学科1年 千財 拓真



システム制御情報工学科1年 梅野 達哉



物質化学工学科1年 成澤 祐馬



機械システム工学科



電気情報工学科



システム制御情報工学科



物質化学工学科

### 引率教員より一言

1年生の皆さん、合宿研修はいかがだったでしょうか？大きな事故なく終わることができ、安心しています。今回の合宿研修が今後の学校生活の糧となるものとなれば、担当者としてうれしく思います。今回の合宿研修に協力してくれた上級生諸君に、この場を借りて感謝申し上げます。

担当学生主事補  
物質化学工学科  
准教授 高田 知哉



## 第2学年宿泊研修

7月18日(木)・19日(金)に第2学年の宿泊研修を実施しました。これは、北海道の豊かな自然と文化に触れ、知識と見聞を深めると共に、学生同士や学生と教員との結びつきを深め、学生生活の思い出を作ることを目的に毎年実施しているものです。当日は天候にも恵まれ、学生達は、それぞれ友人達と楽しい時間を過ごせたようです。



機械システム工学科2年 西元 大輝

楽しく学べ、友との絆も深まった宿泊研修ですが、楽しい思い出より次に生きる改善点を書き残そうと思います。普通の観光でも見学できる工場で、「高専生としての工場見学」がこれ良いのでしょうか？工場見学とは「自分が学んできた事をどう生かせるのか、実感する機会」「実際に働く場所、人を見ることで就職の際、自分の想像との相違を少なくする機会」であると思います。故に学んでいることを活用している工場を見学すべきです。

この宿泊研修を通して、仕事に関する知識を多く得ることができました。また団体行動の大切さ、そして友達との楽しい思い出を作ることができました。これを良い経験として社会に出た時も頑張っていきたいと思います。



電気情報工学科2年 山田 涼介



システム制御情報工学科2年 西尾 瑞生

札幌から始まり、定山溪・小樽・岩見沢を巡った宿泊研修。私の地元が美唄ということもあって、慣れ親しんだ場所が多かったのが印象的でした。何度もいったことのある地でしたが、昔とは違う視点で見学することでまた新たな発見をすることができました。友人と楽しく行動できた、充実した2日間だったと思います。

私が宿泊研修で最も心に残った思い出は、小樽での自主研修です。小樽は北海道有数の観光地ということもあり、歩けばすぐ歴史的な建造物、食べ物美味しいお店、お土産屋などがあり、街としての魅力を感じました。友人たちと練り歩いた小樽はとても楽しく、時間が許せば1日中、小樽の街を散策していたかったです。



物質化学工学科2年 石川 浩也

### 引率教員より一言

週間予報では天候がよくないという見込みでしたが、当日は幸いに2日も好天に恵まれました。今回の宿泊研修で、学生は友人たちと一緒に、工場見学、温泉宿での宿泊、ホテルでのランチ、小樽自主研修などを通して、様々な思い出を作ったことと思います。友人の意外な一面を垣間見たという学生もいるのではないのでしょうか。

第2学年主任  
一般理数科  
教授 富永 徳雄



機械システム工学科



電気情報工学科



システム制御情報工学科



物質化学工学科

# 校内体育大会

5月16日(木)・17日(金)の両日にわたって開催された校内体育大会は、両日も天候に恵まれましたが、残念ながら前日までの雨の影響のため、屋内競技がメインとなりました。

初日は、ユーモアあふれる各クラスの決意表明から始まり、バレーボールとフットサル、2日目は、バスケットボール、バドミントン、駅伝が実施されました。各競技会場では、声援が飛び交うなか選手たちが熱戦を繰り広げました。

## 校内体育大会 総合順位

### Best5

- 👑 1位 4年 機械システム工学科
- 2位 4年 電気情報工学科
- 3位 3年 電気情報工学科
- 4位 3年 機械システム工学科
- 5位 2年 機械システム工学科

### 優勝クラスから一言



機械システム工学科4年  
小島 敦史

こんにちは4年機械システム工学科です。僕たちのクラスは、いつも賑やかで授業中も騒がしいクラスですが、「やるときはやる」クラスです。今回の体育大会ではかなり前からバレーやフットサルの練習をしたり、決意表明の内容を入念に考えたりと優勝に向けて皆で団結して練習してきました。その結果、見事体育大会優勝を決めました。本当にみんなが頑張ってくれて最高の結果になりました。これをきっかけに、勉強のほうも頑張りたいと思います。



### 体育大会 実行委員長より一言

今年度の体育大会は、日程や対戦形式を変更したため当日の運営がどうなるか不安もありましたが、自分が想像していた以上にスムーズに進行することができました。来年は学生会員としてではなく、選手として体育大会を楽しみたいです。



電気情報工学科4年  
戸松 駿太



# 各クラス・専攻科・留学生の紹介

みなさんに  
質問!

Q. どんなクラスですか?

## 1年生

### 1M 機械システム工学科



小島 龍

僕たち、1年機械システム工学科は、男子36人、いつも楽しいクラスです。普段の授業の時にはあまり活気がないけれど、イベントの時はすごく盛り上がりのあるいいクラスです。今後もクラスの良さを生かして根本先生の指導の下、楽しい学生生活を送りたいです。

### 1E 電気情報工学科



佐藤 翼

「あなたのクラスはどんなクラスですか?」  
⇒ “なかなか面白いクラス”  
こんにちは、1Eです。私たちのクラスは授業を静かに受けている...と思いきや、寝ていたりと良くない所もありますが、テンションが高くてうるさすぎるくらい元気です。この4ヶ月でこんなに仲良くなったのは、1Eのみんなの相性の良さだと思うので、これからもっと団結力を高め今後の行事とかを頑張りたいです。

### 1S システム制御情報工学科



屋敷 憲志

我々の学級は一言でいえば、動物園です。動物園にはいろいろな動物がいます。鳥・猿・象、そして植物まで。うちにも、ゴリラのような人、植物のような人、さまざまです。でもそれは、一人一人が個性的であるからこそそのような学級なのだと思います。そのせいでなかなかまとまらない学級ではありますが、いい学級だと思います。

### 1C 物質化学工学科



富山 草太

とても元気のあるクラスだと思います。元気が良すぎてまとまりが無い時があり、ときたまそれで怒られますが...。しかし、基礎化学実験ではメンバーと協力して、意欲を持って取り組んでいます。これからもこのクラスでの高専ライフを楽しく過ごしたいと思います!!

## 2年生

### 2M 機械システム工学科



影本 祐哉

「2Mのたのしさ」  
今年から混合学級から学科別のクラスとなり、ここまで一緒に来ました。授業態度はとっても悪いと思いますが、私は他のどの学科よりも楽しくすごしています。春にあった体育大会でも5位という成績を残す事ができ、みんなで協力し楽しむことができました。あと3年は一緒なので今後も楽しく過ごせたらいいと思います。

### 2E 電気情報工学科



藤井 辰好

このクラスは一人一人の個性が強いクラスでとても楽しいですが、授業中は静かな方だと思っています。勉強ではみんなで協力して理解し合おうとする姿勢でいます。今年から混合学級から新しいクラスになり、まだ慣れないこともあるかと思うけど、このままの個性的な楽しいクラスとして2Eの思い出をみんなで作りたと思います。

### 2S システム制御情報工学科



柳原 集

「いつも賑やかです。」  
2年制御です。このクラスは男子38人女子6人の計44人のクラスです。いつも笑い声の絶えない賑やかなクラスです。担任は体育を教えてくださいの本木先生、副担任は数学を教えてくださいの笑顔が愛おしい近藤先生です。何でも楽しくしてしまうところが魅力的なクラスです。

### 2C 物質化学工学科



藤村 佳亮

こんにちは、2Cです。私たちのクラスは、男子26名、女子20名で構成されており、ほかのクラスと比べて女子の割合が大きいクラスとなっています。まだクラス全体のつながりは弱いですが、担任である富永先生の協力なども得て、みんなで良いクラスにしていきたいと思っています。

みなさんに  
質問!

Q. どんなクラスですか?

3年生

3M 機械システム工学科



米倉 隼輝

僕たちのクラスは個性的な人が多いです。普段から教室で騒いだりしているのですが問題児というわけではなく、いい意味でぎやかにしてくれる人がたくさんいます。そんな人たちですが、学校の行事等になると団結するので、級長としても助かっています(笑)

3E 電気情報工学科



佐々木 恒平

私のクラス、3Eは学生全員が個性的で、常に元気が絶えません。特に5月に行われた体育大会では3年生ながらも見事総合3位をもぎ取ることができました。現在クラスの人数は47人います。来年、4Eになったときには今の半分の人数になっているかもしれません。それでもくじけず、来年は体育大会総合優勝したいと思います。

3S システム制御情報工学科



斉藤 和希

我々3年S組は中村基訓先生を担任に、今年から天才留学生チョンイップを加えた男子多数、女子数名の約40人で活動しています。今のクラスになり早数か月が経ち3Sには団結力や結束力ができてきたような気がします。3Sは本気を出したら暗記だけが得意の某クラスに負けたくないです。次のテストから本気だします。

3C 物質化学工学科



大間 伸彦

「3Cは平和です。」  
4月からこのクラスになりましたが、3Cは勉強熱心で優秀なクラスだと思います。横黒板には化学反応式や平衡定数など、化学のことばかり書かれています。なので、テストでは赤点なんてほとんど見ません。これからも、この平和で優秀で真面目な3Cで過ごしていきたいです。

4年生

4M 機械システム工学科



笹田 捺生

僕たちのクラスは男子37人、女子0人の計37人のクラスです。けれど、4年機械(4M)は団結力抜群で仲が良く、頼りになります。騒がしいところもあるけれどそのぶん元気いっぱい楽しいクラスです。この団結力で今年度の体育大会は優勝することができました。4Mみんなでこれからの行事も頑張ります!!!

4E 電気情報工学科



西村 康太郎

私たちのクラスの特長はクラスみんなが元気で明るいことです。クラスメイト全員が仲良く、とてもいい雰囲気です。毎日を送っています。体育祭でも、空いた時間にみんなで呼びかけあって練習したおかげで準優勝を取ることができました。時々、賑やかすぎて先生方に迷惑をかけてしまうことが玉に瑕ですが、毎日楽しいです!

4S 制御情報工学科



斉藤 陵子

私達4年制御情報工学科は、科目数にも負けず、課題の量にもレポートにも負けず、毎日試されながらも頑張って過ごしています。授業時間数的な意味で踏んできた場数があります。しかし、正直負けそうなきの方が多いい気もします。それでもやる時はやる、本気を出せばすごいクラス、それが4Sです。

4C 物質化学工学科



佐藤 優樹

「ポリってるぞ!4C!」  
僕ら4年物質化学工学科は2児のイクメンパパ塚井先生と40人の愉快で素敵な仲間たちで構成されています。3年生の時は混合学級が解体されたばかりでどこか気まずい感じでしたが、今となってはとも仲が良く毎日楽しくやっています。後期も見学旅行、学校祭と盛りだくさんですが、全力で楽しみ全員で進級するためがんばります。

5年生

5M 機械システム工学科



越智 紅葉

メンバーは明るく個性にあふれ、勉強では皆で助け合い、行事の際には一丸となり全力で盛り上げに徹しています。時折ハプニングも起きますがその都度自分たちで解決できる自主性もある、それが5年機械科です。  
最近のニュースはわれらが坂本君の飼っている猫が出産したことです。子猫がほしい方は是非5Mにご連絡ください。

5E 電気情報工学科



辻川 尚輝

「井口組」  
5年電気情報工学科は、担任の井口先生も含め34人と少なめですが、その分1人1人と関わる時間が多く、お互いの個性を認め合っているクラスだと思います。そして、それぞれがそれぞれでユニークな人たちが集まっているので、過ごしやすい楽しいクラスです。

5S 制御情報工学科



川浪 拓人

私たち5年制御情報工学科(5S)は担任の戸村豊明先生の下で卒業後、立派なエンジニアになるために一生懸命勉強に励んでおります。そんな真面目なクラスですが学校行事やテスト終わりには公園でクラス全員で焼き肉をしたりして友情を深めています。毎年学祭では美味しい唐揚げを作っています!是非みなさん食べに来て下さい!

5C 物質化学工学科



早川 恭世

「全員そろって卒業」  
素直で優しいひとが多く、就職や進学の試験では、みんなが応援し、地方に行った人は、お土産を買ってくる仲間思いなクラスです。また、一人ひとりの個性は強めですが、クラスとしてはいい感じにまとまっていると思います! 私たちのクラスをよく言うならば「十人十色」です。

専攻科

Q 専攻科に入っての感想をお願いします!

1P 生産システム工学専攻1年



橋本 光太郎

専攻科入学当初は友人たちが大学へ進学、企業へ就職と寂しさも感じましたが、現在は専攻科へ入学した他学科の学生と親くなり専攻科での充実した生活を楽しんでいます。専攻科では他学科の教員の講義もあり、本科では学んで来なかった分野の知識も学べ、より知見を広げるうえで専攻科は素晴らしい場所だと思います。

1A 応用化学専攻1年



小澤 駿

専攻科に入学してわかったことは、授業数は少ないものの、宿題、レポート、インターンシップ、特に研究活動...に追われ、本科時代よりも格段に忙しいということです。専攻科を進学しようと考えている学生は覚悟してください。

留学生

Q 旭川高専での生活はどうですか?

3C 物質化学工学科3年  
(出身国:マレーシア)



陳 家偉 (チン カーウェイ)

毎日レポートや課題に付き纏われて大変ですが、やはり学校生活は「こうでなくちゃ」って感じます。こうして毎日授業を受けたり、友達と面白い話をしたり、部活に行ったりして、一日というのは驚くほど短いものと感じます。それなりに生活が充実しているという証拠でしょう。あとは彼女がいれば完璧なんです(笑)

# 寮生活ってこんな感じ

明誠寮は、自宅から通学できない遠隔地の学生のために用意された学生寮です。現在男子244名が男子寮で、女子17名が女子寮で共同生活しています。

男子寮は、低学年は3名の相部屋、高学年は個室で、女子寮は全員個室となっています。

共同生活を送る上で色々なルールがあり、自宅と同じ生活はできませんが、お互いが尊重し合い、他クラスの学生や先輩・後輩との交流も活発で、充実した生活を送っているようです。

そんな寮での生活について、今年入学したばかりの1年生3人に、平野副校長がインタビューを行い、寮生活の実態(!)について色々お話を聞いてきました。



平野： まずみんなの名前と出身地を聞かせてくれるかな？

小林： 小林 康大です。出身は三笠市です。

石黒： 石黒 雄基です。出身地は稚内市です。

石井： 石井 寛人です。出身地は石黒君と同じ稚内市です。

平野： みんなが、高専に入学しようと思ったのはいつ頃？

小林： 中学校2年生の冬休みの時です。

石黒： 中学校3年生の冬休み（笑）

平野： ええー?! そんなにぎりぎり？

石黒： もう進路どうするのってなった時に、学校案内を見て楽しそうな学校だと思って。4学科の中で特に制御が楽しそうだったので受けたんですけど、受験の後に勉強の難しさとかを聞いて「え?!」ってなりました（笑）

石井： 僕は、最終的に受験を決めたのは中学2年生の頃なんですけど、小さい頃からテレビでパソコンを観てて、こういうの出来る人になりたいなあって漠然と思っていて。あと、制御は幅広い総合的な分野を勉強できそうだったので選びました。

平野： みんな実家を離れて寮で生活することに不安はなかったの？

小林： いやもう楽でいいです。

石黒： 実家ではよく手伝いをしていて、洗濯とかも自分でやっていたので、特に変化はないです。

石井： 僕は2人と真逆で、実家超大好きで、今まで家事もほとんどやっていなかったの、最初の頃はやっぱり辛かったです。

平野： その辛さっていうのはどうやって解消してたの？

石井： 地元の友達とか、頼れる人に話を聞いてもらったりしていました。

平野： それいつ頃克服できたの？まだ克服できてない？

石井： 最近は大丈夫です。家が大好きなのは変わらないんですけど、なんかふっきました。

石黒： でも帰省しまくってるよね（笑）

平野： そうなんだ（笑）でも、ご両親も帰ってきてくれたら嬉しいよね。

平野： 寮に入ってみて、第一印象ってどうだった？

小林： ちょっと変なおいがするって思いました。

平野： 変なおい?!  
（一同爆笑）

平野： それ今はどう？

小林： 慣れました。

平野： 感じられなくなった?それ馴染んできたってことだよ（笑）高専色に染まってるんだよ。石黒君は？

石黒： ドアが鉄なところが高専だーって思いました。工業高専って鉄で固そうなイメージだったので。

平野： 固そうなイメージ?へー面白いね。石井くんは？

石井： 自分はすごく神経質で、入学する前にインターネットで調べてみたら過酷とか悪いイメージのことがいっぱい出てきて、やっぱり無理じゃないかなって思った時もあったんですけど、来てみたら想像していたよりよかったです。僕もともと温泉入れなかったんですけど、神経質なものちょっと治ってきて、大浴場も大丈夫になりました。

平野： 寮に入ってから数ヶ月経ったけど、今までで何が楽しかった?（➡次ページへ）



システム制御情報工学科1年 小林 康大



システム制御情報工学科1年 石黒 雄基



システム制御情報工学科1年 石井 寛人



種別	朝食			昼食			夕食					
	熱量 kcal	蛋白 g	脂質 g	熱量 kcal	蛋白 g	脂質 g	熱量 kcal	蛋白 g	脂質 g			
A定食	940	27.3	18.3	70	863	22.8	21.0	4.1	813	26.1	21.9	5.5
朝食	940	27.3	18.3	70	863	22.8	21.0	4.1	813	26.1	21.9	5.5
昼食	700	20.0	15.0	5.0	863	22.8	21.0	4.1	813	26.1	21.9	5.5
夕食	813	26.1	21.9	5.5	863	22.8	21.0	4.1	813	26.1	21.9	5.5

(上) 寮食堂 / (下) ある日の食事メニュー



補食堂



浴室



洗濯室



3人の部屋(石井君のスペース)

石井： 楽しかったというか、印象に残ったのはやっぱり一番最初の対面式ですね。最初怖いイメージがあったんですけど、普段大声を出す事ってあんまりないんで、ちょっと楽しかったです。

石黒： 対面式もそうですけど、寮祭の最後のじゃんけん大会が楽しかったです。

小林： 僕は特に楽しいって事はないんですけど、印象に残ってるのはやっぱり対面式ですね。

平野： これまで寮で困ったことってあった？

石井： 朝シャワーが入れないことが辛いです。家ではいつも入っていたので。

平野： そっか。夕方じゃなくて昼間もお風呂が使えたらいいのかな。せめてシャワーだけでも。

石井： ちゃんと時間が決まっているのがやっぱり大変ですね。生活が規則正しくなるからいい面もあるんですけど。

平野： でも学年が上がればかなり自由に使えるからね。

石黒： 僕はボディーシャンプーの換えを買おうのを忘れていて、一時期無くなったことがあって、その時はすごく焦りました（笑）あと、洗濯機が夜の方が空いているので、夜にしようと思うんですけど、寝ちゃってできなかったり、洗濯している間につい寝ちゃって気づいたら朝になってる事が多いです。

小林： 僕は今やってる勉強会が…。

平野： 実は勉強会のことは後で聞こうと思っていたんだけど、なに?それが困ったことなの？

小林： まあ…。

平野： そうか、じゃあ勉強会の話をしようか。

一同：（笑）

平野： 勉強会は今年から始まったばかりなんだけど、君たちにとってはどうなの?生の声を教えて?

石井： ちゃんと勉強する時間として与えられるのは、宿題とかするのにやりやすくていいんですけど、22時~23時っていう時間がちょっと眠くなることも…。

平野： 他の時間帯だったらまだいいのかな？

石井： 具体的に考えたことは無いんですけど…。あと、食堂のテーブルを使うんで、たまに食べかすとかで汚れているのが気になります。

石黒： 前まではふきんを貸してもらってたんですけど、今貸してもらえなくなって、ティッシュを持っていない時困りました。

小林： 自分は1人で集中して勉強したいので…。

平野： じゃあ勉強会についてのまわりの評判は？

小林： 賛成してる人もいますけど、めんどくさいなって人もいます。

石黒： 自分は勉強する癖が付いてないんで、結構ありがたいです。

平野： じゃあ、最後に、お互いがお互いをどう思っているのかちょっと聞かせて？

小林： 石黒君はちょっとだらしない。石井君は…ちょっとチャライ（笑）

石黒： 小林君はヒョロい（笑）石井君は物事をストレートに言い過ぎる（笑）あと、2人は総合的に神経質すぎます（笑）

石井： 小林君は…感情的かな。良い意味でも悪い意味でも。石黒君はだらしない（笑）

石黒： 2人からしたらだらしなだけで、自分から見たら2人はすごい神経質で、見方の違いですよ（笑）2人は結構似たもの同士です。

平野： 最初はちょっと不安がありつつも、実際入ってみたらそれなりに楽しくやってる感じなんだね。今日は色々聞かせてくれてありがとう。

3人の部屋は、それぞれを個性に合わせてレイアウトし、狭いながらも、快適空間を作ろうと努力している様子が見えました。

突然、インタビューをお願いしたにもかかわらず、快く引き受けてくれました。彼らが今後も楽しく寮生活を送ってってくれることを祈っています。

# トリプルA制度スタート!

## Asahikawa n.c.t Academic Advisor



インタビューー:  
一般理数科  
准教授 松井 秀徳

### トリプルA制度について 学生へインタビュー

**松井:** トリプルA制度は、1年生のみんなの学校生活や学習方法をサポートするために今年度からスタートした取り組みなんだけど、実際に受けてみてどう?

**塩田:** あまり自分から先生の所に分からない問題などを聞きに行けないので、こういう機会があって、先生と話すことができてよかったです。

**水津:** 分からない問題があった時にすぐに聞けるのがいいと思います。

**松井:** 第一期の担当は古崎先生だったけど、先生とは元々接点はあったのかな? 授業とか。

**塩田:** 無かったです。

**松井:** じゃあ、最初はやっぱり緊張した?

**水津:** 少し緊張しました。

**松井:** そっか。でも古崎先生話しやすい先生だからすぐ打ち解けられたんじゃない?

**水津:** はい(笑)

**松井:** 先生とはどんな懇談をしたの?

**塩田:** 最初の頃は、高専生活は慣れた?とか、生活でこうした方がいいよってアドバイスをもらいました。

**松井:** 最初は学校生活のことから始めて、途中から勉強のことも話し始めたのかな?

**塩田:** そうですね。化学や数学の分からないところを教えてもらったり、あと、テスト勉強の仕方を教えてもらいました。

**松井:** あ、じゃあ化学だけでなく数学とか他の科目も?

**水津:** 分からない問題を色々聞いてみました。

**松井:** じゃあ、先生と話した内容は、実際の学校生活に生かせるような感じだったんだね。

**二人:** はい。

**松井:** 勉強の仕方とか、こうしたらいんだよって裏技とか教えてくれた?(笑)

**水津:** コツコツやりなさいって(笑)

**松井:** やっぱりそうだよね(笑)

第一期は古崎先生だったけど、第二期からはまた別の先生で、一年間で4人の先生とトリプルAをやる訳だけど、それに関してはどうかな? 同じ先生がいいとかはなかった?

**塩田:** やっぱり何回か変わった方がいいかなって思います。自分の学科の先生だけじゃなく、色んな先生と関わるので。

**松井:** それでは最後に、前期末試験や後期の学校生活に向けた意気込みを教えてください。

**塩田:** 毎日の予習復習が大事だっていうことが分かって、試験前のテスト勉強ももう少し早く始めた方がよかったっていうのも分かったので、前期末試験や後期はそういう事を生かしていきたいです。

**水津:** 勉強するときには勉強して、遊ぶときは遊ぶっていうことをきちんと分けて、気持ちの切替えをきちっとしたいと思います。

**松井:** 僕たちも、1年生の皆さんがこれからも充実した学校生活を送れるように全力でサポートしていきたいと思っています。今日はありがとうございました。

Asahikawa n.c.t Academic Advisor(旭川高専アカデミックアドバイザー)制度、通称トリプルA制度とは、1年生の皆さんの学校生活をサポートするため、今年度からスタートした新しい試みで、全教員が1年生2~3名と毎週懇談を行っています。

具体的には、四半期毎にテーマを設定し、少人数による対話によって、よりきめ細かい指導を行います。また、学習に関するもののみならず、今後の高専生活がより充実したものとなるよう、様々な対話を行い、学生と教員の関わりを深め、より一層の信頼関係を構築できればと考えています。

今回は、実際にトリプルAが行われているところへお邪魔し、学生と教員にそれぞれお話を伺いました。



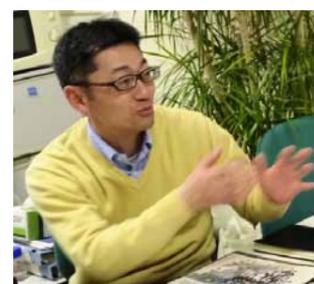
### トリプルA制度について 教員へインタビュー



充実!高専生活!



物質化学工学科1年  
水津 なな子



物質化学工学科  
教授 古崎 睦



物質化学工学科1年  
塩田 彩乃

**松井:** 今年度からスタートしたトリプルA制度も、第一期が終了し、現在第二期が始まっています。実際に行ってみていかがでしたか?

**古崎:** 最初は教員・学生双方に戸惑いがありましたが、この取り組みの最大の強みはやはり1対2~3というスケールにあると思います。中には口数の少ない学生もいますが、一人一人と向き合ってゆっくり話を聴く/伝えることができますので、結果、かなり突っ込んだホンネが飛び交います。そのホンネを引き出すため、毎回お茶菓子を用意している先生もいますよ(笑)

**松井:** 教員の裁量に任されている部分が多いですから、それぞれ先生方は工夫して実施されていますよね。それで、学生さんの反応はいかがですか?

**古崎:** 反応の良し悪しは何とも判断しかねますが、1対40の問いかけからは得られない反応であることは間違いありません。

**松井:** 第一期ではどのような懇談を行いましたか?

**古崎:** 第一期のテーマは「学校生活に慣れましたか?」でしたので、これに沿った懇談を行いました。

**松井:** 具体的には?

**古崎:** 「高専を志望した理由」や「入学後に感じたギャップ」、「現時点での満足度」等を尋ねることから始め、「クラス・部活・寮生活の感想」を聴いたり「先輩達の苦労や卒業後の進路」を紹介したり。互いに相手が見えてきた後半には「中間試験へ向けた助言」や「授業での疑問(例えば"対数って何?")の解説」等です。

**松井:** 第二期ではどのような懇談を行う予定ですか?

**古崎:** 第二期のテーマは「中間試験の結果を受けて -勉強の取り組み方-」ですが、配属グループが一新されましたので、再び互いの"探り合い"から始まります。馴染んできたら、「大学進学時に推薦資格を得る為には?」とか「4年夏期の企業実習とは?」とか「TOEICスコアが重要視される理由は?」等、将来の自分のために第一学年でなすべきことは何か?を考慮するための話題を随時提供していきたいと思っています。

**松井:** 1年生の皆さんにとっては、基本的な学習への取り組み方や学校生活についての疑問・悩みなど、色々なことについてアドバイスをもらえるいい機会になっていると思います。1年生の皆さんへ一言お願いします。

**古崎:** 私の場合、現段階でこの取り組みが「疑問や悩みにアドバイスを与える」という次元に達しているのか心許ない限りですが、入学後早い時期に、所属学科も人格も異なる個性豊かな4人の教員とパイプを持つことはきっと意義があるはず...と考えています。学業、進路、友人等々...これから生じるであろう様々な問題に対して、担任やクラブ顧問、学生相談室とはまた違ったアプローチで役立てる礎になれば良いのですが...。配属が変わった後も廊下で会ったら声をかけるから、よろしくね。

**松井:** ありがとうございました!

# 僕たち ・私たちの青春!



本校には30のクラブ・同好会があり、日夜練習や活動に励んでいます。今回は、陸上部・ソフトテニス部・発明研究会のみなさんに、クラブ活動にける熱い思いを語っていただきました。



## ソフトテニス部

僕たちソフトテニス部は男子15名、女子2名の計17名で試合に勝つことを目標に活動しています。今年度、僕たちは専体連で団体優勝を果たし、全国へのキップを手にすることができました。全国まで残りわずかですが、いつも以上に真剣に練習に取り組み、全国大会では楽しんでプレーができるようにしていきたいです。



電気情報工学科3年  
寺田 太郎



## 陸上部

「陸上部、総合優勝!」

陸上部は春に4名の新入部員を迎えて、和気あいあいと活動しています。今年は選手が13名と他の学校に比べて圧倒的に人数が少ない中、専体連では部員全員の団結力で18年ぶりに総合優勝を達成する事ができました!応援・補助してくれた方に感謝しています。来年も優勝カップを旭川に持って帰る為にこれからも練習に全力で励んでいきます!

機械システム工学科2年  
奥田 隆輔



## 発明研究会

「発研ってこんなところ」

部員1人1人がさまざまなコンテストに向け、各々のアイデアをプレゼン形式で発表。部員全員で話し合いを行い、それをもとに試作品等を作成して、コンテストに挑む部活です。先輩との関係がとても良いため、全員が意見を言い合えるいい話し合いをしています。特許庁が主催するパテントコンテストや全国高専デザコンをはじめ、応募するコンテストへの多数入賞を狙っていきます。

機械システム工学科3年  
西内 廉



## 先生の の横顔



このコーナーでは先生から色々なお話を伺い、授業だけでは分からないその素顔に迫ります!

### File 1 平野 友彦

一般人文科  
教授/副校長



#### ■どんな科目を担当していますか?

1年生の「現代社会」、2年生の「日本史」、4・5年生選択科目の「史学A」・「史学B」です。

#### ■勉強の仕方や試験対策などをこっそり教えてください!

社会系の科目はよく暗記科目といわれていますが、私の授業では事項のつながりやその背景について理解してもらうように努めています。そして、ノートは後で見ても流れがわかるようにまとめているつもりです。ですから、勉強するにはノートを主に、教科書は参考書代わりに使ってもらおうと思います。また、何故そうなるかという視点でノートを読み返してもらうと、事項のつながりがわかってくると思います。

#### ■先生の趣味や特技は何ですか?

趣味は「いきものがかり」や「少女時代」の歌を聴いたり、テレビのニュース番組をハシゴしたり、犬の「くりちゃん」(ポメラニアン)とじゃれあったりすることです。特技は「他人のことを見ていないように見ている」ことです(そう言われたことがあります)。

#### ■先生が学生時代に夢になっていたことってありますか?

ソフトボールです。国語の石本先生とは良きライバルでした。

#### ■学生の皆さんへ、充実した学校生活を送るためのアドバイスをお願いします。

卒業して社会人になってから、あの時勉強してたら良かったと思わないように、出来ることは少し我慢してでもやってみてください。きっと何かが、誰かが手を貸してくれます。

## こんな授業 やっています

科目名だけでは「?」な高専独特の専門科目を、専門外のみなさんにも分かりやすく簡単にご紹介します!

### メカトロニクスI

メカトロニクスIは、例えば「ロボットはどのようにして手や足を動かしているのか」とか「自動車のエンジンはどのようにしてタイヤの回転運動を生み出しているのか」といったような様々な機械の動きの仕組みを、機械工学の専門分野である「機構学」や「動力学」などに従って詳しく学んでいく科目です。



機械システム工学科  
准教授 横井 直倫

### 創成工学演習

「実践討論型授業で“考える力”が身につく“創成工学演習”  
創成工学演習は、「考える力」を育てるために、創造力、チームワーク及び実践的な技術を身に付けることを目標とした実践討論形式の授業です。今年度は、「小中学生に電気現象をわかりやすく説明しよう」のテーマで、小学5年生向けの教材づくりを行っています。全国高専小中学生向理科学術教材開発コンテストに応募したり、旭川市街にて発表会を行っています。



電気情報工学科  
准教授 篁 耕司

### 計算機援用設計製図

この科目では、コンピュータを使って工業製品の形状を設計する「CAD」について、技術的な基礎を学びます。最初に、2次元CADで使われる直線や円などの基本図形を、次に、3次元CADで使われる球、直方体、円柱などの基本立体を、それぞれパソコンのプログラムとして計算・表示する方法を学んで、実験しています。



システム制御情報工学科  
准教授 戸村 豊明

### 生物環境化学

人間の活動により環境に放出され環境を変えてしまう様々な物質の化学と、環境と生物の関係に注目します。この科目では、環境に影響を及ぼす生物の活動と人間の活動、生物や人間が環境から受ける影響の仕組みについて講義を受けると共に、webや参考文献からの情報収集により、技術者として、そして生活者として必要な知識を身に付けます。



物質化学工学科  
教授 小林 渡

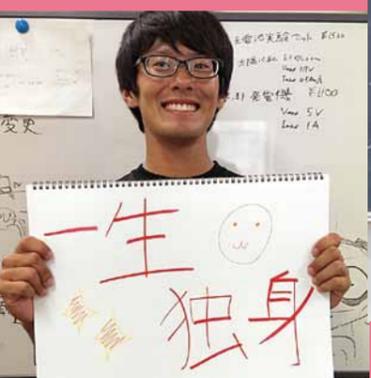
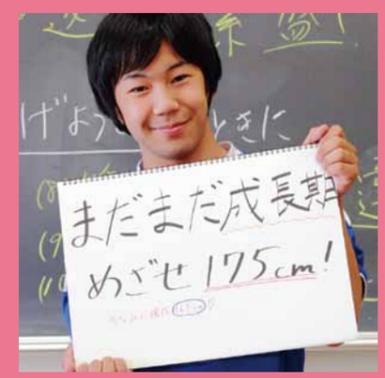


# ANCT VOICE

— アンクト ボイス —

## NO.1 テーマ: 夢 将来の夢は何ですか?

記念すべき第1回は、みなさんに将来の夢や目標を聞いてみました。現実的なものからこうなったらいいのにな～的なものまで、たくさんの素敵な夢や目標を教えてもらいました。みなさん、実現に向けて頑張ってください!



回答してくれたみなさん、撮影に協力してくれた写真同好会の4C佐藤 奎都君を始め たくさんの方、ありがとうございました!

# 平成25年度 行事予定 (9月～11月)

9月2日(月)	授業開始(本科)
17日(火)	授業開始(専攻科)
20日(金)～30日(月)	前期末試験(本科)
30日(月)	休業日(専攻科)
10月1日(火)	後期授業開始
5日(土)	北海道地区国立工業高等専門学校体育大会(ラグビーフットボール競技)
13日(日)～14日(月)	全国高等専門学校第24回プログラミングコンテスト(旭川開催)
16日(水)～18日(金)	第4学年見学旅行
22日(火)～11月20日(水)	水原ハイテク高等学校生徒受入
24日(木)	防火訓練
25日(金)～27日(日)	高専祭(26・27日:保護者懇談会)
25日(金)～29日(火)	休業日(専攻科)
27日(日)	全国高等専門学校ロボットコンテスト北海道地区大会(函館開催)
28日(月)～29日(火)	外国人留学生実地見学旅行
29日(火)	休業日(本科)
31日(木)	就職適性検査(本科4年・専攻科1年)
11月2日(土)	平成26年度専攻科後期学力・社会人特別選抜試験
7日(木)	就職実践模試(本科4年・専攻科1年)
16日(土)～17日(日)	専攻科研究発表・交流会
24日(日)	全国高等専門学校ロボットコンテスト全国大会(東京)

## 編集後記

「学校だより」116号をお届けします。先の115号でご案内しましたように、今年度から内容と体裁を見直し、内容は親しみやすく、デザインはやわらかくという方針で編集を進め、今回はその第2弾です。

これまでは学校行事が中心でしたが、特集記事や連載記事を載せることにしました。学生が生の声や姿でいろいろなことに答えてくれています。学生の皆さんがどんなことを考え、どんな表情で高専生活を送っているか、少しでも知っていただけたら幸いです。

今後とも、旭川高専の「今」を、「リアルな高専生活」を、出来るだけ学生の皆さんの目線に合わせてお知らせしたいと思います。

広報委員会 委員長 平野 友彦



# FANCT vol.116

「FANCT」…旭川高専を表す「ANCT」に「F」をつけて「Fun」（楽しい、愉快的）の音をつけました。旭川高専の楽しい情報を伝えること、また、読むのが楽しみな学校だよりになるよう名付けました。



独立行政法人国立高等専門学校機構

旭川工業高等専門学校

〒071-8142 北海道旭川市春光台2条2丁目1番6号

TEL 0166-55-8103(総務課総務係)

FAX 0166-55-8082

<http://www.asahikawa-nct.ac.jp>